令 和 元 年 度

八代市議会総務委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

１．１０月臨時会付託案件 …… １

令和 元 年 １０ 月２９ 日（火曜日）

総務委員会会議録

令和元年１０月２９日　火曜日
　　午前１０時３０分開議
　　午前１０時４２分閉議（実時間９分）

○本日の会議に付した案件

１．議案第９２号・専決処分の報告及びその承認について（令和元年度八代市一般会計補正予算・第７号（関係分））

○本日の会議に出席した者

委員長	橋本幸一	君
副委員長	金子昌平	君
委員	太田広則	君
委員	中村和美	君
委員	成松由紀夫	君
委員	橋本徳一郎	君
委員	堀　徹男	君

※欠席委員　　君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

　　君

○説明員等委員（議）員外出席者

財務部長	佐藤圭太	君
財務部次長	尾﨑行雄	君
財政課長	田中智樹	君

○記録担当書記　　上野洋平　君

（午前１０時３０分　開会）

○委員長（橋本幸一君）　それでは、定足数に達しましたので、ただいまから総務委員会を開会いたします。

本日の委員会に付します案件は、先ほど配付されました付託表のとおりであります。

◎議案第９２号・専決処分の報告及びその承認について（令和元年度八代市一般会計補正予算・第７号（関係分））

○委員長（橋本幸一君）　それでは、事件議案の審査に入ります。

それでは、議案第９２号・令和元年度八代市一般会計補正予算・第７号中、当委員会関係分に係る専決処分の報告及びその承認についてを議題とし、説明を求めます。

○財務部長（佐藤圭太君）　皆様おはようございます。財務部の佐藤でございます。本日、総務委員会に付託されました議案につきまして、事件議案で予算の専決処分に係るもの、すなわち議案第９２号・令和元年度八代市一般会計補正予算・第７号の歳入など、尾﨑財務部次長が説明いたします。よろしくお願いいたします。

○財務部次長（尾﨑行雄君）　おはようございます。財務部の尾﨑でございます。よろしくお願いいたします。着座にて、説明させていただきたいと思います。

○委員長（橋本幸一君）　はい、どうぞ。

○財務部次長（尾﨑行雄君）　議案書の１ページをお願いいたします。

議案第９２号・専決処分の報告及びその承認についてでございます。内容は令和元年度八代市一般会計補正予算書・第７号で、９月定例会後に、訴訟事務に伴う債務負担行為の追加のほか、災害復旧事業に伴う起債限度額の変更など、早急な対応を行う必要から、令和元年１０月８日に専決処分を行ったものでございます。総務委員会付託分について説明いたします。

それでは、５ページをお願いいたします。第１条は、歳入歳出予算の補正でございますが、歳入歳出それぞれ、５４６万円を追加し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ、６５２億５８２６万円といたしております。また、第２条では債務負担行為の補正を、第３条では地方債の補正をお願いし

ておりますが、内容につきましては、７ページの表で説明いたします。

それでは、７ページをお願いいたします。上段の第２表債務負担行為補正の１追加でございますが、訴訟事務委託、一般廃棄物収集運搬業務委託、平成２９・３０年委託としまして、期間を令和元年度から訴訟契約終了年度まで、限度額を訴訟契約により決定した額に設定しております。

これは、新たに平成２９年及び３０年の一般廃棄物収集運搬業務委託契約について、損害賠償請求を求める裁判が熊本地方裁判所へ提訴され、本年９月１２日に訴状が届きましたことから、早急な対応が必要であるため、その訴訟の結審までに係る経費について債務負担行為の設定を行っております。

次に、下段の第３表地方債補正でございますが、１の変更で、災害復旧事業において、限度額を増額いたしております。詳しい内容は、後ほど、歳入、款２２・市債で説明を行います。

なお、起債の方法、利率、償還の方法につきましては、補正前と同じでございます。

続きまして、歳入を説明いたします。１１ページをお願いいたします。款１１、項１、目１、節１・地方交付税で、４９６万円を計上いたしております。これは、今回の補正予算の一般財源でございます。

次に、款２２、項１・市債、目９・災害復旧債、節３・公共土木施設災害復旧債の５０万円は、９月２２日から２３日にかけて通過しました台風１７号で被災しました道路橋梁施設災害復旧事業のうち、坂本地区の市道馬廻・板ノ平線の復旧経費に係る市債で、充当率１００％の災害復旧事業債でございます。

以上が歳入の説明でございますが、総務委員会に付託されました歳出はございませんので、これで説明を終わります。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

○委員長（橋本幸一君）　それでは、以上の部分について、質疑を行います。質疑ありませんか。

○委員（成松由紀夫君）　歳入の災害復旧の分で、よかですかね。台風１７号の馬廻・板ノ平線の状況というか、金額的にはそうでもない感じもするんですけども。被害状況がどの程度か、わかる範囲で結構です。

○財政課長（田中智樹君）　財政課田中でございます。よろしくお願いします。市道の坂本地区におきます馬廻・板ノ平線でございますけれども、落石が３個、倒木が１本でございまして、特に落石のほうが、大きさが１．２メートル掛ける０．８メートル掛ける０．６ということでかなり大きい落石がありまして、その落石を除去しないと道路が通れないという状況でございましたので、それにかかる経費がほとんどでございます。

以上でございます。

○委員長（橋本幸一君）　ほかに。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（橋本幸一君）　以上で質疑を終了いたします。意見がありましたらお願いいたします。

○委員（成松由紀夫君）　一般廃棄物のやつはまだこのあとですかね――、審議は。

○委員長（橋本幸一君）　小会します。

（午前１０時３７分　小会）

（午前１０時４０分　本会）

○委員長（橋本幸一君）　本会に戻します。意見ございませんか。

○委員（成松由紀夫君）　歳出がなくて入りの部分ていうような内容でありますが、この一般廃棄物訴訟事務委託が、平成２９、３０年委託しました。このあと、債務負担で令和元年度から訴訟契約終了年度ということで、訴訟契約によって決定した額ということで、まだなかなか先行きが見えない部分だから執行部も多分答えようがないと思うんですが、一般財源でやっぱり３３６万、過去の部分も含めて考えればたしかトータルで２００

０万影響額があるような話を、今回のを足せば２０００万弱になってくるような話を聞いとっとですけども。一部ですね、これスタートのときに何名かの議員さんが関与してるのがあって、以前の建設環境委員会の中で、財政シュミレーション的なことも考えても、もうちょっとですね、考えていかんといかんとじゃないかと。この訴訟関連であまり税金をですね、入れこんでいくというのもどうかなというのも思いますので、まあ意見ですけれども、執行部も大変そこは苦慮されて対応されているところが見受けられます。そういうことを感じてるところもあるんですが、しっかりとですね、そこは毅然とした形で対応していきながらも、やはりこの予算については慎重に対応していただければというふうに要望して終わります。

○委員長（橋本幸一君）　ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（橋本幸一君）　なければ、これより採決いたします。

議案第９２号・令和元年度八代市一般会計補正予算・第７号中、当委員会関係分に係る専決処分の報告及びその承認については、承認するに賛成の諸君の挙手を求めます。

（賛成者　挙手）

○委員長（橋本幸一君）　挙手全員と認め、本件は承認されました。

以上で、付託されました案件の審査は全部終了いたしました。

お諮りいたします。

委員会報告書及び委員長報告の作成については、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（橋本幸一君）　異議なしと認め、そのように決しました。

以上で本日の委員会の日程は全部終了いたしました。

これをもって、総務委員会を散会いたします。

（午前１０時４２分　閉会）

八代市議会委員会条例第３０条第１項の規定により署名する。

令和元年１０月２９日

総務委員会

委　員　長